



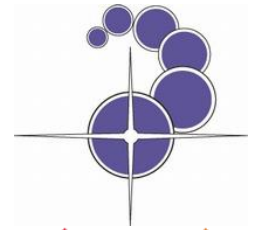
新潟県立村上中等教育学校 16期生

4 学年だより

～ Quest ～

令和2年9月28日

第19号



今後の学校生活



前期期末考査が終わりました。これからの学校生活には、六煌祭、11月進研模試などがあります。学校生活は、次から次へやることが現れますね。目の前にあるものを丁寧にこなしていきましょう。その積み重ねで、いろいろな力が身についていくはずですよ。

六煌祭 10/16(金)



今年度は行事が少ないですね。授業しかない毎日に飽きてきた生徒もいるようです。だから、六煌祭は貴重な行事です。感染予防のためいろいろと制限された範囲内だとしても、その中で精一杯盛り上げてほしいと思います。

9/28(月)から放課後の応援練習が始まります。応援リーダーだけにまかせるのではなく、各自が協力する気持ちをもって、まとまりのある活動をしていきましょう。

4年生が中心になって作成する旗は無事に作り終えましたか。下級生とも話し合ったり協力したりして、仕事の進め方についてもお手本になってくれましたか。



医療講演会の感想



9/18(金)6限に、医師を志望する生徒向けの医療講演会がありました。講師は80歳をこえた医師の方でした。事前に講演会のスライド資料を見せてもらいましたが、90ページありました。並々ならぬ熱意を資料を見ただけでも感じました。実際に講演も熱のこもった内容だったそうです。参加した生徒の感想をいくつか抜粋します。

- ・医者としての「心」の勉強ができた。
- ・頭が良いだけがお医者様ではないと思った。でも、勉強はできないといけないから大変だ。
- ・怪我をしたときに、お医者さんに目を見て大丈夫？と言われてうれしかった。他者に寄り添える人になりたい。
- ・医者には、医学の知識だけでなく、道徳も必要であると教えてもらった。
- ・医師は、「ただ理系科目が得意な人」ではだめで、「世間がわかり幅広い知識がある人」ではないといけないと改めて感じた。

医師を目指す覚悟ができた生徒が多いようです。覚悟ができる、というのは素晴らしいことだと思います。迷わず何かに打ち込める、というのは幸せなことだと思うのです。

志望校を早めに決めると目標があるからやる気になれる、とよく言われます。それは、覚悟ができるからなのでしょう。自分は〇〇学科に進み〇〇を学ぶ、〇〇大学で〇〇の研究をする、そして大学を出た後に〇〇になる、など具体的な未来が描けると、がんばろうという気持ちになれますよね。

今、進路について迷っている生徒は多いと思います。今後の生き方に関わることだから当然ですよ。いつでも相談にのりますし、情報が足りないようなら、進路情報をまとめたサイト（夢ナビ、ベネッセマナビジョン、河合塾など）を見たり、各大学のウェブサイトを見たりして、視野を広げることも大事です。誰かに話してみるのもいいかもしれません。説明しているうちに、自分でも気づかなかったことがあったり、話した相手からの指摘で新しいことを発見したりできるかもしれません。

悩んだ末に結論を出して、目標に向かって迷わずに進む、そんな状態が理想です。ひとりひとりがそうなれるようサポートしていきたいと思います。



新潟県立村上中等教育学校

TEL 0254-52-5115

FAX 0254-53-6773

学校ホームページ URL

<http://www.murakami-ss.nein.ed.jp/>

電車不通時の連絡

mrk-ss.16@murakami-ss.nein.ed.jp